

2025年度 小学生ルールの取り扱いについて

2025年4月13日(日)
日本小学生バレーボール連盟
審判委員会

2025年度6人制競技規則の改修正点、2025年度6人制ルールの取り扱いに準拠し、以下を主に小学生ルールの取り扱いとして、確認することとする。

(1) スクリーンについて

2025年度6人制ルールの取り扱いと同様に扱う。
ただし、小学生はフリーポジション制であることを踏まえ、ファーストレフェリーは、選手の位置をよく確認してから、サービス許可のホイッスルを行う。
フェアプレーの精神から、戦術的にスクリーンを形成することを許さない。
スクリーンに関する注意は、何度でも行うことができる。**小学生連盟での教育的指導とは別である。**

(2) テクニカルタイムアウト（TTO）について

選手の健康と安全に配慮をするために導入されているが、近年、ベンチスタッフが指導する場面が多く見られた。

TTO中における選手の位置はこれまで曖昧であったため、ベンチ横からウォームアップエリアの間※1とし、ベンチスタッフは健康観察の声かけ程度ということを再確認する。

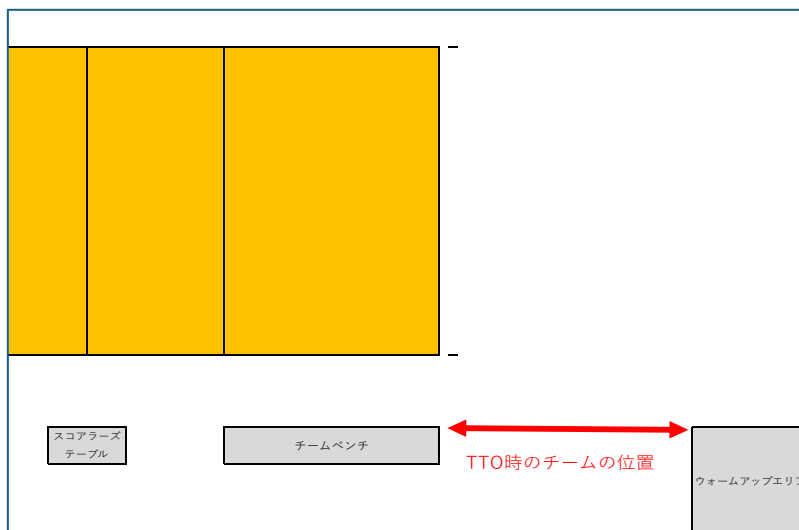
TTOは健康観察を目的とするため、30秒間は指定の場所にとどまること。※2

（30秒を待たずにコートに入ることはできない。）

選手はウォームアップすることはできない。また、**ホイッスル前にベンチスタッフの前に集合することなく、ホイッスル後、速やかにコート内に入ること。**

※1 会場によっては、この限りではない。

※2 選手は休息のためチームベンチに座っていても構わない。



(3) タイムアウト中における、柄付きモップのモップがけについて

柄付きモップの使用は強制ではない。コート内の選手との接触事例も起きている。
コート内の選手が、必ず1名以上、汗等で濡れたフロアを拭くためのワイピングタオルを持つように、レフェリーはトスの時に必ず伝えること。